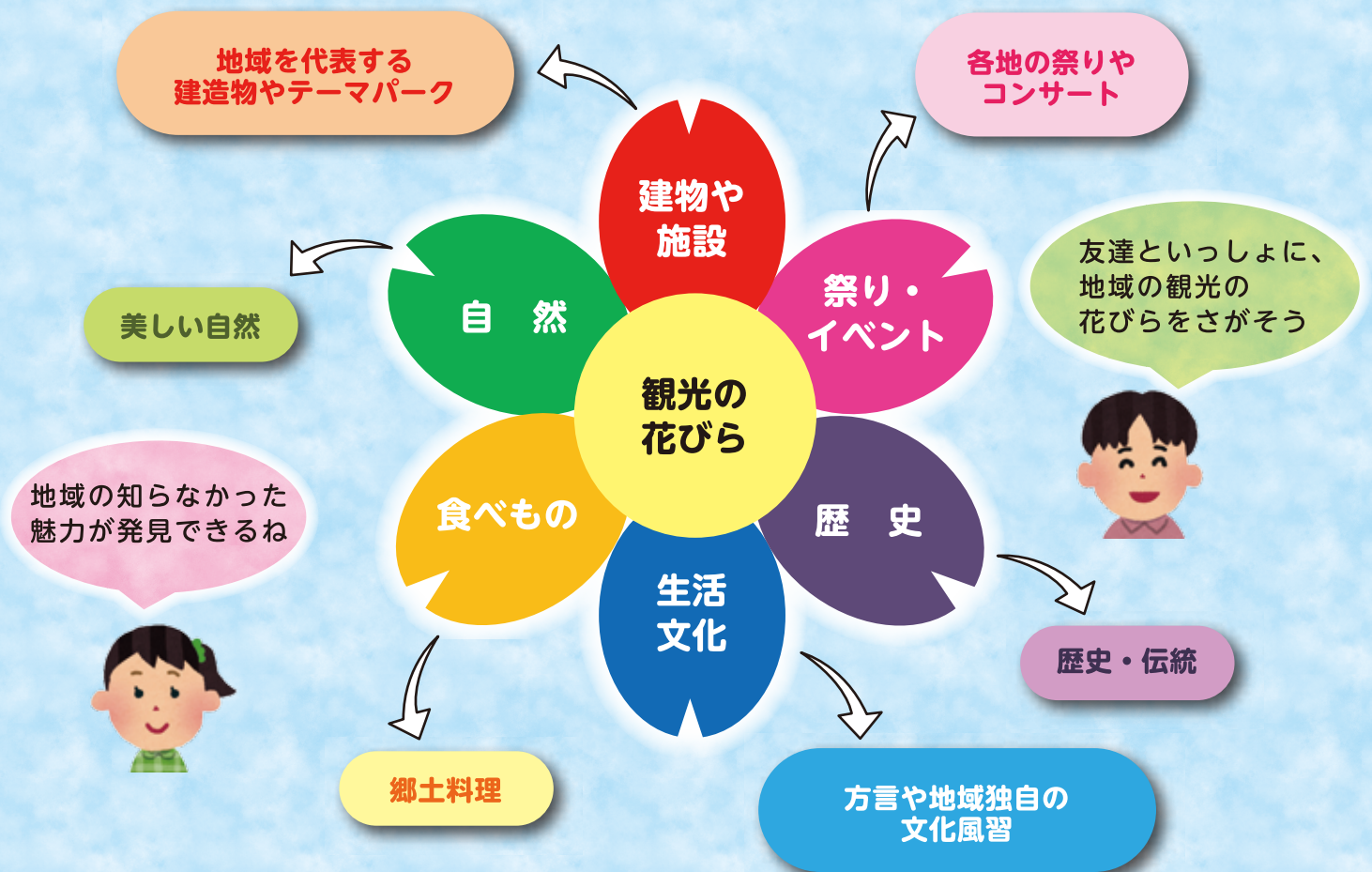


北海道の魅力を価値にかえる学びを促す

観光教育 ガイドブック

地域の**観光の花びら**を見付けよう



※上図は「観光でまちを元気に！日本・ふるさと再発見！」
(公益社団法人日本観光振興協会)を基に作成しています。

北海道教育庁学校教育局義務教育課

観光教育のススメ

□ 観光教育の意義

近年、道外や海外から訪れる観光客が年々増加傾向にある北海道において、子どもたちに北海道の魅力的な観光資源や今後さらに増加する観光需要について学ぶ機会をつくり、地域創生の重要な取組である観光産業への理解を深める観光教育の充実を図ることが求められています。

観光教育は、子どもたちが自分たちの住むまちや、世界と日本の中の北海道について、観光の視点から学ぶことを通して、本道や地域への愛着や誇りを育むことはもとより、地域の課題を見付け、解決策を考える学習過程を通して、今日求められている課題解決能力の育成に大きく寄与します。

□ 観光教育を通じて育くむ資質・能力

観光教育で「観光」を題材として学ぶことを通じて、次のような資質・能力を育成することが期待されます。

■ 地域への理解・愛着

子どもたちが、北海道や地域の魅力について理解するとともに、観光を窓口に関心・愛着を育む

■ 観光への興味・関心

子どもたちが、北海道や地域の観光産業の重要性を理解し、観光に関わる事象や観光産業への興味・関心

■ 課題解決能力

子どもたちが、観光に関わる事象についての調べ学習や観光客へのインタビューやガイド体験に取り組むことによる課題解決能力

■ 地域への参画意識

子どもたちが、観光協会や観光に携わる人々と交流したり、地域の課題について考えたりすることによる地域の一員としての社会参画意識

■ 観光産業への就職意欲

子どもたちが、実際に観光産業に関する体験をし、観光産業への理解が深まることにより、将来、観光産業へ携わったり、進学して観光について学んだりする意欲

【観光教育の学習の特色】

- 1 子どもの主体性、探究心、地域への参画意識の向上を重視した学習
- 2 学習の成果が地域の課題解決につながる実感を得られる学習
- 3 地域の人々や施設との関わりを重視した学習